

図書館だより



165

2007(平成19)年12月21日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合西養山1番地

024-535-3218 fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>

「本の森への道しるべ」をご活用ください!

当館では、利用者の方がご自分でお知りになりたいテーマの本を的確に見つけられるように、昨年度から「本の森への道しるべ」を作成しています。

今年度になって新たに作成したテーマは、「アートに触れる シャガール」、「ロシア文学に親しむ」、「今日からはじめるエコライフ」、「アートに触れる 上村松園・松篁・淳之」、「21世紀・これからの社会を考える:「格差社会」を考える」、「21世紀・これからの社会を考える:「医療問題」を考える」、「21世紀・これからの社会を考える:「環境問題」を考える」、「21世紀・これからの社会を考える:「少子高齢化社会」を考える」、「プランゲ文庫(新聞コレクション)」、「信夫山」、「アートに触れる 斎藤清」、「アートする子どもの本」、「2007 雑誌記事で“格差”を問う! 社会・地域・教育・医療編」、「2007 雑誌記事で“格差”を問う! 経済・労働・所得・海外事情編」です。これで累計75テーマになりました。昨年度作成した「本の森への道しるべ」も随時更新をして、最新の情報が提供できるようにしています。

公開図書室入ってすぐ右の、蔵書検索コーナーの隣に置いてありますので、ご自由にお持ちください。

また、当館ホームページにも掲載しています。PDF形式になっておりプリントアウトもできますので、どうぞご利用ください。

「ふるさと福島を知るこどもの本展」を開催

当館展示コーナーで、平成20年1月5日(土)~3月30日(日)まで「ふるさと福島を知るこどもの本展」を開催します。今回の展示では、子ども向けに書かれた福島県内の歴史や文化に関する本をわかりやすくご紹介するとともに、年中行事に関する写真パネルも掲示します。

ぜひ、お子さまと一緒にご覧いただき、ふるさとの良さを再確認してみたいはいかがでしょうか?

年末年始の休館日程と長期貸出のお知らせ

平成19年12月28日(金)から平成20年1月4日(金)まで、年末年始・館内整理のため休館します。休館に伴う貸出返却期限日の変更は下記のとおりです。通常より1週間長い3週間の貸出期間となりますので、どうぞご利用ください!

貸出日	返却期限日
12月14日(金)~15日(土)	平成20年1月5日(土)
12月16日(日)	1月6日(日)
12月18日(火)	1月8日(火)
12月19日(水)	1月9日(水)
12月20日(木)	1月10日(木)
12月21日(金)	1月11日(金)
12月22日(土)	1月12日(土)
12月23日(日)	1月13日(日)
12月24日(月)	1月14日(月)
12月26日(水)	1月16日(水)
12月27日(木)	1月17日(木)

・閉館中に返却される場合は、図書館入口右手のブックポストをご利用ください。

・貸出期間延長をご希望の場合は、返却期限前にご連絡ください。
1回(15日間)延長することができます。(ただし、次の方の予約が入っている場合を除きます)

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

人文・自然

- 『**体の痛み**」に耳をすます早わかり事典』
酒井慎太郎 / 著 現代書林 494.77/㍻034
この本は整形外科的な痛み に絞って、痛みの症状からチャート式で自己判断できる本です。108の病気を取り上げており、多種多様な痛みの自己判断に加え、原因のメカニズムと一般的な治療法が図を用い、わかりやすい言葉で紹介されています。
- 『**読む・知る・愉しむ 巡礼・遍路がわかる事典**』
中山和久 / 著 日本実業出版社 186.9/㍻04Y
巡礼はいつするのがいいのか？何が得られるのか？どんな格好で、何を持っていけばいいのか？など、巡礼・遍路に関する素朴な疑問にわかりやすく答える入門書です。巻末には、「日本の巡礼100選」や索引もあり、実践者に向けたガイドブックとしても活用できる一冊です。
- 『**レジ袋がなくなる日：2030年日本が危ない!**』
環境問題を考える編集者の会 / 著 マイクロマガジン社 451.85/㍻076
地球がどんどん熱くなる、日本人がいなくなる、100億超の人たちを養える食料がない、エネルギーや資源が食べつくされる…。そうならないために、今できること提案し、2030年の理想の未来像を描いています。

社会

- 『**国勢調査報告 平成17年**』
総務省統計局 / 編・刊 358.1/S4
館内をご利用ください
国勢調査は法律に基づいて国の人口の状況を明らかにするために5年ごとに行われる調査で、大正9年から18回にわたり実施されました。今回ご紹介するのは平成17年10月に実施された簡易調査の結果をまとめたものです。
人口や世帯の状況についてまとめたものが刊行されましたが、就労や労働力の状態について調査したのも順次刊行予定です。当館では冊子体で閲覧できますが平成21年にかけて、総務省のホームページからもご利用いただけます。利用の方法が不明な方は、ユーザーズガイドもございますので、ご利用ください。
- 『**旧石器時代の日本列島と世界**』
小野昭 / 著 同成社 209.2/㍻079
著者は首都大学東京で考古学の教鞭をとる教授です。早くからヨーロッパの研究方法に着目し、石器の技法研究のみでなく使用痕や骨角器の製作技法など幅広い研究を行い、自然科学分野の研究成果を取り入れることにも熱心です。
その著者の論文を編集し直し、まとめたのがこの資料です。特に旧石器時代を専門的に知りたい方にはお勧めの一冊です。

雑誌・新聞

- 食品の値上げが続いています。人口増加による食糧としての穀物の需要増加に加え、米国のバイオ燃料促進計画が価格高騰に拍車をかけました。注目されるバイオ燃料を取り上げた雑誌をご紹介します。
- 『**化学**』2007.8 化学同人 Z430.5/K1
- **バイオ燃料の最新研究と課題**
- 『**農林水産政策研究所ビュー**』No.25 Z610.5/N4
米国におけるバイオエタノール政策の展開と農畜産物需給に与える影響
ほかにEU・英国の動向を伝える記事あり。
- 『**科学技術動向**』2007.6 文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センター Z405/K5
エネルギー資源作物とバイオ燃料変換技術の研究開発動向
- 『**科学**』2007.10 岩波書店 Z405/K2
論点・バイオ燃料
- 『**エコノミスト**』 2007.6.26 毎日新聞社 Z330.5/E1 **穀物バブル**
- 『**地上**』2007.9 家の光協会 Z610.5/C2
追跡/穀物価格高騰
- 『**National Geographic**』(英文)
2007 October Z290.5/N1 Growing fuel

地域

- 『**野崎洋光の野菜料理帳**』
野崎洋光 / 著 家の光協会 LA596.1/N2/14
著者の野崎洋光氏は福島県出身で、先日発売された話題となっている『ミシュランガイド東京2008』にも紹介された「分とく山」の総料理長です。和食の伝統に現代のエッセンスをプラスした、わかりやすくていねいな料理指導が人気で、食の大切さを伝える「食育」にも力を注いでいる方です。本書では、季節ごとにそれぞれの野菜を使ったメニューを紹介しています。当館では、福島県ゆかりの著者の本を集めた「県人文庫」のコーナーにて、野崎洋光氏の著書を多数所蔵しております。
- 『**電話番号簿から観える街**』
吉田修一 / 著・発行 L291.1/Y7/1
明治40年(1907)福島県に電話が開通して今年でちょうど100年がたちます。当時は郵便局で電話交換業務や通話事務が行われていたそうです。本書は昭和7年に発行された一冊の電話番号簿と明治34年の市街地図をもとに、昭和初期の福島市の町並みを探ったものです。町名ごとに描かれた地図には当時の商店や寺院の名前が並んでいます。
職業別に編集し直した「町並みと職業」からは、今ではほとんど見られなくなった蚕物や人力車などを扱う商店も多くあったことが窺えます。昭和7年発行の電話番号簿は当館でも所蔵しております。あわせてご覧いただけます。